

高齢者施設等における 口腔に関する健康支援

学科・専攻： 関西女子短期大学
歯科衛生学科

担当教員： 濱元 一美

連携先：
デイサービスほっとステーション御殿山 てくてく

プログラム内容

「高齢者施設等における口腔に関する健康支援」として、デイサービスの日常生活を学びながら、利用者の方々と触れ合う機会をいただきました。午前中は四字熟語やことわざなどの脳トレを共に行い、その後は学生達が主体となって利用者の方々と共に健口体操を行いました。昼食後は口腔ケアをさせていただくこともできました。施設利用者である要支援・要介護の方々の口腔の健康に関する低下予防を図るため、さまざまな利用者の方々と触れあうなかでコミュニケーション能力を養うとともに健口体操を通じて口腔ケアや食事支援などについての必要性を学ぶことを目的に活動しました。

成果・考察

コロナ感染蔓延の配慮から、学生達が高齢者施設でボランティア活動を行う機会になかなか恵まれないなか、少人数での活動であればと受け入れていただき、6月24日(土)に学生2名と共に参りました。学生達はそれぞれ利用者の方々のテーブルに分かれ、緊張しながらもコミュニケーションを図りながら一緒に作業をすることができました。また、2年生ということもあり戸惑う様子は見られましたが、健口体操や口腔ケアを行うこともでき、利用者の方々には大変喜んでいただきました。学生たちは、かなり緊張をしたとのことでしたが、達成感もあったようで良い経験になったと思います。学生達は、利用者の方々と触れ合うなかで学び、そして支援に繋がればと思います。

〈高齢者施設での活動風景〉



関西女子短期大学 歯科衛生学科
濱元一美 教授

歯科衛生士は歯科診療所で仕事をするというイメージが強いと思いますが、要介護や要支援の方々に対しての摂食嚥下に関わる訓練や口腔ケアを行うことができる職種でもあります。そのため、本学科でも高齢者施設や障がい者施設での学外実習が設けられていますが、学生達は、普段、要介護者や要支援者の方々と接する機会があまりないことが多く、口をみたり触ったりする前にコミュニケーションをとることで緊張が増してしまうことが多々あるようです。ボランティア活動で施設に行かせていただいた際には、利用者の方々から学生達に話かけて下さることも多くあり、ボランティア活動として参加した学生は、活動後に行かせてもらって良かった、楽しかったと言い、何かしらの達成感が芽生えるようです。学生の学びを得ながら支援をさせていただける貴重な機会であるため、可能な範囲で今後も活動を継続することが重要であると感じています。



関西女子短期大学
歯科衛生学科 2年生
渡邊 美結 (2023.7/15 現在)

私は、初めて高齢者施設に行きました。行く前はうまく話せないのではないか等、不安な気持ちでいっぱいでしたが、利用者様や職員の方々が温かく迎え入れて下さり、色々なお話を聞かせて下さったおかげで緊張が解けてゆったりと過ごすことができました。この実体験によって、施設での活動が楽しいものとなりました。短い時間でしたが、とても勉強になり有意義な1日でした。